ID1002928 問高齢支援課☎(338)6846・FAX(371)1200

9月は**認知症**を知る月間

灯そう希望の光 暮らそう工夫と共に!

認知症は、病気の種類やその進行の程度に応じて、認知機能が低下して症状が出てきます。出現する症状は人それぞれ。生活の困りごとも人それぞれ。だからこそ十人十色の生活の工夫があります。

認知症は誰もがなりうる脳の病気です。あなたは認知症になった時、どのように生活していきたいですか?

そのためには、どんな工夫が必要だと思いますか?

９月は関戸公民館でもたくさんの希望のメッセージを展示します!

※オレンジパートナー…認知症の方やその家族と共に活動する「認知症に理解ある伴走者(登録制)」

「みらいの会(認知症当事者の会)」「いこいの会(認知症の介護者の会)」の皆さんのいろいろな工夫

もの忘れが心配だから、検査を受けてみた。今は、認知症になったらどう生きていくか考える時間になっている。

私一人では行けなくなったけれど、息子に送ってもらって、好きな美容院で、お気に入りのネイルとヘアスタイルを続けています。

施設の支援者と仲良くなって、介護の情報を集める工夫をしています。

認知症の妻の立場に立って「どうしてできないのかな」と理由を考えています。

家だと妻が何でもやってくれちゃう。通所リハビリに行くと励まされてうれしいので、頑張っています。

介護に悩んだら「いこいの会」でみんなに話します。それがストレスをためない工夫かな?

できる家事(洗濯、ベッドメイキング)はよくやっています。料理はほぼやらないけれど、一部は夫婦で作るように努力しています。

認知症の妻は散歩中に花を見ると笑顔になるので、散歩は欠かせません。その妻の笑顔を写真に撮ることが私の役目です(笑)。

たま広報へのご意見をお寄せください

広報紙に関するご意見やご要望などがありましたら、次のフォームからお寄せください。
ID1012584 問秘書広報課☎(338)6812